

## 令和3年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川町立揖斐川中学校 揖斐川町立北和中学校 揖斐川町立谷汲中学校 揖斐川町立坂内中学校 岐阜県立揖斐高等学校

### 1 連携型中高一貫教育の目標と重点

#### (1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りをもち、貢献する

【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する

#### (2) 連携型中高一貫教育の令和3年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・中高連携の活動と指導の充実
- ・本事業の一層の理解を求めて、保護者・町民への広報活動を充実させる

### 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

| 目標       | 取組         | 成果と課題  |
|----------|------------|--|
| 確かな学力の育成 | 揖斐Basic    | <p>○連携中学校4校が朝の学習等に位置付けて計画的・継続的に取り組むことで、学習習慣を身に付け、主体的に取り組む姿が増えてきている。</p> <p>○6月と10月の2回に分けて高等学校教員による学習面談を実施した。個に応じた適切な助言を受けることにより、進路実現のための意識付けができた。</p> <p>○学習面談に緊張感をもって臨むことができおり、中学生にとって入試での面接や就職を想定したよい経験となっている。</p> <p>▲揖斐Basicの学習内容について、個に応じた学びや深い学びになるように、中高のつながりも考慮し改良していく必要がある。</p>   |
|          | サマースクールの開講 | <p>○ICTを活用し講義を配信するなど、新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえでサマースクールを開催することができた。</p> <p>○教科の学習の仕方についてのアドバイスや、高等学校での学習内容を含めた講義がなされており、生徒の学びへの意欲を高めた。</p> <p>○揖斐高等学校への進学を希望している生徒は入学後イメージしながら参加できた。それ以外の生徒にとっても学習への意欲付けができ、進路実現につながる有意義な体験になった。</p> <p>○授業の中で入試の採点基準や解法等、中学生の関心の高い内容が扱われたことで、生徒にとって学習方法を具体的に見直す機会になった。</p> <p>○中高の教員が協働して授業づくりをすることで、中高での学習の系統性や指導方法を教員も互いに学ぶことができた。</p> <p>▲事前の打ち合わせ会、当日ともに、中学校教員の参加が困難な状況もあったため、サマースクールの時期、参加方法や参加人数について検討する必要がある。</p> |



【学習面談の様子】



【サマースクールの様子】

|                |                         |  |   |
|----------------|-------------------------|--|---|
|                | <p>中高交流</p>             | <p>○中高教員での授業検討、学習面談での情報交流を通して、中高の指導について相互理解を図ることができた。</p> <p>○毎週、中学校の教員が高等学校へ、高等学校の教員が中学校へ授業の指導に入ることは、生徒の実態把握と授業の進め方について互いに知ることができ、それぞれの学校での教科指導にいかすことができた。</p> <p>○1月の学習成果発表会を中学3年生の希望者と中学2年生が参観し、中高一貫教育の出口の姿を知ることは、生徒が進路について考えるよい機会であった。</p> <p>▲教科研究会の日程を中高相互に連絡・調整し、中高の教員で教科指導についても、さらに学び合う機会を増やしていくとよい。</p> <p>▲中高それぞれの教員が、授業のサポートだけではなく、それぞれの立場での話をする機会や、教科の専門性を活かした授業を行う機会を作るなど、それぞれの教員のよさをいかせる場を増やしていくとよい。</p> |  <p>【中高教師による授業検討】</p>  <p>【学習成果発表会】</p> |
|                | <p>中高連携行事の実施</p>        | <p>○揖斐高生による中学校での出前授業は、高校生が指導する内容はもとより、礼儀や作法についても中学生が多くを学ぶことができる内容になっている。揖斐高生にとっても、自らの学びや成長を確かめる機会になっている。</p> <p>○揖斐高等学校の3年生を中学校へ招いて、中学2年生へ進学、就職について話をしてもらう卒業生講話は、高等学校卒業後を含めた進路指導につながり、大変有意義である。</p>  |  <p>【出前授業(飾り切り)】</p>  |
| <p>学びの育かう力</p> | <p>体験学習や学習成果発表会への参加</p> | <p>○中学2年生が高等学校での体験学習に参加し、高等学校の雰囲気や専門科の学習に触れることは、早い段階から進路について考え始めるよい機会となっている。</p> <p>○体験学習では、多様なコースから選択し、楽しく活動できている。一生懸命に説明する高校生の姿は中学生のよい目標となり、説明する高校生にとっては自分の取組を振り返り、自信をもつことにつながっている。</p> <p>○開講式、閉校式での中学生の発表を位置付けたことにより、生徒たちに目的意識を明確にもたせることができた。</p> <p>○体験学習や学習成果発表会の揖斐高生の姿が年々よくなっている。質が高く魅力ある発表会への、保護者や中学生、地域の期待は高まってきている。</p>  |  <p>【体験学習(福祉コース)】</p>  |

|   |                            |  |   |
|---|----------------------------|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域に貢献する態度の育成</p> | <p>地域における中高生の活躍の場の位置付け</p> | <p>○揖斐川町青少年育成大会では揖斐高等学校の生活デザイン科の生徒が、「家庭クラブ」についての発表を行い、好評を得た。青少年育成大会での発表は、ローカルテレビの放送を通して、揖斐高等学校の特色や揖斐高生の活躍を多くの町民に知っていただくことにつながっている。</p> <p>○地元の和菓子店やJAとコラボレーションし、商品の共同開発を行うなど、地域の活性化を図るための取組を進めたことは、地域への啓発につながった。</p> <p>○デュアル実習で、毎週、地元企業で職業実習をすることで、地域と高等学校とのつながりを深めることができています。</p> <p>▲「いびがわマラソン」や「クリーン大作戦」など、新型コロナウイルスへの感染防止のため中止された行事が、来年度以降再開された折には、積極的に参加していくとよい。</p>                               |  <p>【「家庭クラブ」の発表】</p>  <p>【和菓子店との共同開発】</p> |
|   | <p>地域との連携</p>              | <p>○街頭啓発活動でのMSリーダーズや中学生の参加が定着している。中学生は高校生の姿から、地域の方との関わり方を学んでいる。また、この活動を通して中高一貫教育についての地域の理解も広がっている。</p> <p>▲新型コロナウイルスへの感染防止のため、公民館行事への参加やラジオ体操など地域の行事へ参加できなかった。来年度以降は、地域の行事や活動への積極的な参加を再開することが、地域から求められている。</p>   |  <p>【街頭啓発活動】</p>  |
|   | <p>保護者・地域住民の啓発</p>         | <p>○町の広報誌「広報いびがわ」、ローカルテレビ番組「いびがわチャンネル」で地域住民への情報提供を進めている。</p> <p>○各学校の「通信」で、サマースクールや体験学習の様子を保護者に伝えることで、中高一貫教育に関しての理解を深めることができた。</p> <p>○揖斐高等学校のWebサイトなどでも行事を連絡するなど広く周知を図っている。</p> <p>○授業やデュアル実習などで、地元企業とのつながりを通して、地域の方にも、揖斐高等学校の特色を活かした教育について知っていただくことができた。</p> <p>▲保護者・地域住民への啓発として、中高連携行事に保護者や地域住民の参加を促していきたい。そのために、新型コロナウイルスへの感染対策を一層充実させ、行事の実施を両立させていく必要がある。</p> <p>▲保護者や地域住民の声を集め、生徒に届ける機会があるとよい。</p> |  <p>【「広報いびがわ」10月号表】</p>  |